

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年5月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691200218号
法人名	株式会社 ケアサポート霧島
事業所名	グループホームきりつま
所在地	鹿児島県霧島市霧島大窪63-2番地 (電話) 0995-64-8095
自己評価作成日	平成31年4月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年5月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームきりつまは霧島山麓の豊かな自然環境の中美味しい空気を身体いっぱいに取り入れ気持ち良く過ごせる場所にあり、周りの景色は四季折々の花々が咲き誇り、近くの神社に散歩がてらお参りをしたり、足湯のサービスを利用したり、近隣のスーパーや八百屋と一緒に同行していただき、献立を考えながら日々の会話や外に出る機会を多くもつように取り組んでいる。

又、園庭に畑を作り、収穫した新鮮な野菜を食べていただき栄養豊富な食事メニューを心を掛けている。日々自然と触れ合っていて楽しく暮らしていただけるよう「家庭的な環境」を大切にしている。職員は常に寄り添う事を大切にし(感謝の心・謙虚の心・共感の心)3Kのこころを持って五感を使って良く観察し、報告・連絡・相談を心掛け、早期発見・対応に努めている。生活のパートナーとして、利用者様・御家族に接し、一日一日を張りのある充実した生活が送れるように努めている。常に一人一人のニーズに合わせ個別の関わりを重視し、人生の大先輩としての敬いの心を持って接している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、市中心地より少し離れた霧島山麓の自然豊かな農村地帯の一角に設置されており、周囲には、保育所、住宅、農地等が混在している。

ホームは地域密着型事業所としての理念を掲げ、地域との協力関係や密な交流が図られる関係を構築しており、日常的に農産物を頂いたり、散歩時の会話や友人知人の来訪、買い物、地域行事への参加等に積極的に取り組み、ホーム主催のイベントには家族や地域住民、ボランティア等の参加が得られている。また、住民から寄せられる高齢者福祉や介護に関する相談等に対しても、専門性を活かして適切な助言に努めている。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者の誇りや尊厳を大切にしながら思いの把握に努め、常に感謝・謙虚・共感の気持ちで接し、日課を強制しない利用者主体の暮らしの支援に取り組んでいる。利用者や家族からの意見や要望に対しては、職員全体で協議して改善を図るなど、より良いサービスの実践に日々努めており、利用者や家族との信頼関係が構築されている。

管理者は、日頃から気軽に意見が言い合える雰囲気づくりに努め、意見や要望等を把握して運営やサービスの質の向上に取り組んでいる。職員のスキルアップを図る研修の実施や日頃のケアに対する助言・指導を積極的に行い、外部研修の受講には法人による経費の助成制度を活用し、有給休暇の取得など福利厚生にも配慮して、職員の意欲向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の基本理念として「一人一人の個性を活かしたゆとりある生活と家族の絆を大切にします・地域の中で交流の場としての環境を作り安心して癒しのある生活を大切にします」理念は見える所に掲示し職員の目につきやすい所にも貼っている。	利用者の尊厳やその人らしさを大切に家族や地域との関わりを継続した生活の支援を理念に掲げ、玄関やトイレに掲示すると共に、申し送りや全体職員会議、ミーティングで唱和している。研修、ケアの振り返り等を行って意義の共有と理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会には加入していないが、日々の散歩途中に、地域の方との会話や挨拶の中でも着実に地域に溶け込んでいると実感を持っている。近隣の方や御家族・老人クラブの方々が野菜等を届けてくださることもある。近隣住民・子供達を交えボランティアに来ていただいたり、一緒に取り組みやすい行事を共に作成し参加し日常的に交流をしている関係である。	地域の情報の把握に努め、地域の行事に参加したり、地域住民の参加を得て夏祭りや敬老会等を開催しており、多くのボランティアの訪問も受けている。日頃の散歩時の会話や友人知人の来訪、地域の人からの農産物の提供、施設見学の受け入れ、住民から寄せられる高齢者福祉や介護に関する相談への助言等、日常的に円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ライフサポートワーカーが事業所内に3人在籍し、近隣住民の方々が気軽に立ち寄れるサロン会を開催し私達の専門性を活かした分野で相談を受けるなどしながら、お役に立てるよう心がけ活動している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の機会を捉え、自己評価・外部評価の結果や改善計画、入居者様の状況、きりっまの理念や日常の健康管理・防火安全対策について議題に取り上げ、その都度意見をくみ上げながらサービスの向上につなげている。	利用者、家族、民生委員、駐在所、消防署職員、市担当職員等が参加して定期的に開催している。ホームの運営や利用者の状況、自己評価等を報告し、併せて健康管理や防災に関する意見交換等を行って、運営や利用者の生活状況の理解を得ている。会議の内容は議事録で共有し、全員で協議して業務の改善を図るなどサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に必ず出席してもらいグループホームの運営状況を伝えている。又、日頃から連絡を密にし相談など行い、特に制度改正時には貴重なアドバイスを頂いている。	市担当職員には、運営推進会議に出席してもらい、ホームの状況の理解を得ている。日常的に介護保険や各種制度の手続き、利用者のケアや施設運営に関する相談等を積極的に行い、助言・指導を受けるなど協力関係を築いている。市や社会福祉協議会主催の会合や研修会に参加して、業務やサービスの改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が入居者様に与える影響などについて研修や身体拘束委員会を設置し、身体拘束にならない仕方を見つけ出し「身体拘束排除宣言」を掲げケアに取り組んでいる	全体職員会議で身体拘束に関する研修の実施や、身体拘束適正化委員会での事例研修、意見交換等で共通の認識を深めており、「身体拘束排除宣言」も行って玄関に掲示している。不適切な言葉づかいやケアに対しては職員間で注意し合うなど、日頃から改善に努めている。昼間は施錠は行なわず利用者の見守りや対話等に努めて安定を図るなど、尊厳を大切にしたい拘束のないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	一つ一つのケアや言葉かけなど小さな点から虐待に結びつかないように注意している。常に利用者様の立場になり利用者様の人権を尊重する考えを忘れず周りとも連携し、間違いのないケアを行えるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援については、プラン作成により検討し、職員はプランに沿って支援している。成年後見制度については、職員が理解できるように勉強会を行い資料回覧等を行っている。家族には契約時及び必要時に概要の説明等の情報提供を行い手続きの支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書をもとに、入居者様及びご家族に十分理解できるように説明し契約の締結解約及び改定を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様との日常会話を通じて苦情や意見をくみ取るように努めている。家族には運営推進会議や面会時を利用して意見や思いの表出に努めている。なお、言いにくい場合は玄関に意見箱も設置しており、内容に応じてその場での回答や職員会議で検討した後に回答するなどの取り組みをしている。	利用者の想いを日常の会話や独自のサイン等で理解に努めている。家族からの意見は来訪時や運営推進会議、家族会、意見箱等で把握しており、出された意見は申し送りや日誌等で共有し、職員会議で協議して改善に取り組んでいる。家族にも対応状況を報告して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や勉強会・ミーティングには必ず管理者が出席し、その際に積極的な意見交換を行っている。また、常日頃から職員が意見を出しやすい職場環境作りを心掛けており、運営に反映させている。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションに努め、日々のケアの中や申し送り、ミーティング、職員会議等で意見や要望を把握し、必要に応じて個人面談も実施して悩み等も聴取している。出された要望等は協議して改善を図り、勤務シフトや外部研修の出席には可能な限り職員の意向を反映させている。スキルアップを図るため研修を実施し、資格取得へのバックアップや休暇取得など福利厚生への促進にも配慮しながら、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の都合をできるだけ反映させ、勤務体制とし、意見を取り入れ、やりがいに繋げるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員自らが自己評価や事業所内での勉強会の機会を多く持つようにして、職業意識を高め、さらに広い視野で介護を捉えるように取り組んでいる。また、全職員が外部研修を受ける機会を設け、その研修内容を職員間等で発表することで、未受講者への浸透を図っている。なお、資格取得に関する費用支援もしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>入居者様に対する介護サービスの質の向上を図るため、他施設への訪問研修の実施などの取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前に、管理者・ケアマネが家族や御本人と面会をし、担当ケアマネから情報をもって参考にしながら、御家族の気持ちや要望、ご本人様の気持ちや状態を導き出し職員に申し送って対応の参考にしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人様と御家族の意向をしっかりと把握し、安心してサービスをうけられることができるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所された入居者様一人一人に合った支援・サービスをケアマネジャーがケアプランに反映し職員がそれに基づいて実践するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>残存能力に応じ、洗濯物の整理や食事の準備、後始末など日常の家事や他菜園の世話、収穫等も職員と一緒にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族に、電話やお便り等で利用者様・御本人様の日頃の様子が常に届くよう、情報を入れている。又家族会を含め季節の行事にはご家族様に参加を積極的に呼びかけ、皆で楽しめる機会を設けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みにしてきた思い出の場所や、お墓参りや入居前に御近所で交流のあった方達との面会支援を行っている。	利用者の生活歴や社会性等を把握して、馴染みに関する情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり交流できるように配慮し、本人の希望に沿って買い物やドライブ、墓参、一時帰宅等を家族と連携して支援している。遠方の家族には便りや電話で近況を伝え、また、手紙等の取り次ぎも行なうなど関係の継続支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様のできること、できないことを把握し、その方が力を発揮できるように声掛けを行ったり、一緒に行事に参加して頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時に御家族の要望で時々施設に訪れたい要望があったり、入院のための退所は、入院先を訪問したり、お便りを出す等して御家族の相談にのったり、アドバイスを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は基本情報から利用者様の生活歴を把握しているほか、日々の暮らしの中から利用者様の表情やしぐさを観察し、気づいた点を定期的な話し合いの中全職員で共有している。利用者様一人一人に担当職員を決め、きめ細かな支援ができるように努めている。	日頃から利用者の思いや意向の把握に努め、生きがいのある、その人らしい暮らしの支援を家族と連携して取り組んでいる。全体活動に加え、利用者の意向を汲みとって趣味（読書、編み物、お手玉、ぬり絵等）や家事（洗濯物たたみ、炊事や片付け等）への取り組みを、心身の状況に配慮しながら個別の支援にも努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報収集や日々の暮らしの中での様子やサービス状況等、経過シートを用い情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人が個々のペースで生活できるように支援している。現状の把握に努めているようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は入居時や入居後のアセスメント及び利用者様や御家族等との日頃の関わりの中で把握した思いや意向を基に作成している。毎月カンファレンスやモニタリングを実施し、定期的に介護計画を見直すとともに、心身の状態に変化が生じた場合はその都度検討し、現状に即した介護計画を作成している。	カンファレンスやモニタリングを実施し、本人・家族の意向や主治医の意見を基に残存機能に配慮した利用者主体のきめ細かな介護計画を作成している。支援の状況は「ケアチェック表」「バイタルチェック」等で共有を図っており、定期的な見直しに加え状況の変動時には計画を修正する等、実状に即した計画を作成して改善に取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日頃の様子や状態、気づきを個人記録に記入し、特に気になる事は申し送りノートを活用し情報を共有している。また、入居者様の小さな情報を記録する「気づきノート」を活用し、職員が知った何気ない情報を共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様、御家族の思い、希望に配慮し、個々に合わせ、その時の状況に合ったケアを実践している。又、ドライブ・買い物等にも出掛けたりしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	元気だったあの頃の友人が面会に来て下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な受診は御家族が付き添っているが、状態の変化等必要な場合は職員が同行し主治医に報告している。通院困難な方は訪問診療などの説明を行っている。また、緊急時の受診は状況に応じて対応している。	利用者の病歴等を把握し、本人・家族が希望する医療機関での受診を支援しており、協力医療機関による月1回の訪問診療も実施している。他科受診も家族と協働して実施し、医療機関との医療協力連携も築かれて、利用者及び家族の安心に繋がっている。利用者の病状や受診結果は家族にも報告するなど密に連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常的に情報交換を行い、状態の変化等の場合は、相談し、受診の必要性の判断や助言を得ている。連絡を取れる体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には基本的には、管理者・ケアマネジャーが責任をもって病院関係者及び御家族等との連絡を密に取り合い、情報交換や相談に努めている。また、関係医療機関の関係者とも日頃から連絡を取り合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に御本人様・御家族の希望を聴き、ホームの対応方針や事業所が対応し得る支援について説明し、利用者様の状況に応じて段階的な話し合いを行い情報や方針を共有しながら支援している。	重度化や終末期のケアに対する指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ている。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族や関係者は協議しながら可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいるが、殆んどが終末期には入院に至っており、これまで看取りの実施は無い。今後、終末期対応の研修を実施してスキルアップや職員の不安感の軽減を図る意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルがあり、急変時にも速やかに対応できるように備えている。緊急蘇生法の研修等にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回の防災訓練を行い、消火器・消火栓の使い方の訓練も行っている。運営推進会議でもテーマに取り上げ話し合っている。災害時の連絡先や自主防災組織図をホーム内に示し取り組んでいる。</p>	<p>災害時の連絡網や防災組織図を整備し、年2回夜間を含む火災、風水害、地震発生時の通報、避難、消火等の訓練を実施している。日頃から災害のニュースをもとに意見交換や避難経路を確認する等、防災への認識を共有している。スプリンクラーや火災通報装置を設置し、懐中電灯、ラジオ等の整備や災害時の飲料水、食料品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護や個人情報保護についての勉強会を開催している。個人情報の保護に関しては、入居者及び御家族と同意書の取り交わしをしている。また、入居者様の人生を知り、尊敬の気持ちを持って接することに努めている。	利用者の尊厳やプライバシー確保、個人情報保護については研修の実施や日頃から意見交換を行って適切なケアの実践に取り組んでいる。更衣や排泄、入浴のケアの際は人格や羞恥心に特に配慮しており、居室やトイレ、浴室等はプライバシーを確保した構造になっている。ケアに関する帳票類は事務室で管理する等適切に取り扱っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを表出しやすいように、職員から話題提供を図ったり選択方式で自己決定を促すなど、ケアの中でさりげなく働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体制や気持ちを配慮し誘導している。「決して無理強いしない」が原則となっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好みに応じて衣服を着ていただいたり、化粧の習慣がある方は、継続して楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	きりっまの畑で収穫した野菜や、地元の食材を使い、味見から調理、配膳など入居者様が出来る事を生かして食事作り、片付けをしている。職員も一緒に食卓を囲み、食を通じて一緒に楽しみながら一緒に行っている。	疾病に伴う食事制限や形態、栄養バランス、嗜好、盛り付け等に配慮し、畑の野菜など旬の食材で利用者も参加して調理している。季節の行事食や園庭でのバーベキュー、そうめん流し、手作りのおやつ、家族との会食、外食など、食事が楽しみとなるよう工夫しており、職員も一緒に歓談しながら食事している。食事や水分の摂取状況を把握し、食後の口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後食事の摂取量や水分量については、チェックして記録に残し必要量が取れているか、一人ひとり気をつけている。又、嚥下困難な方や偏食の利用者様には、形態や調理方法を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎の予防を行い、義歯の方は洗い残しが無いかの確認を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来る限りおむつを使わない方針で対応している。尿意・便意のない方も排泄パターンをつかみ、日中はパンツとパッドにする等可能な限り自立に向けて個別支援をしている。	利用者毎の排泄パターンを把握し、可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の身体状況に合わせた介護用品やケアの方法を介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、リハビリパンツから布パンツに変わるなどの改善が図られている。また、食事や水分の摂取量、運動量等を把握し便秘予防にも努めている。トイレ誘導や衣服交換等のケアは、利用者の羞恥心や尊厳に特に配慮して支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を確認し、水分補給や食事量・服薬等の調整を主治医の指示の元、調整を行っている。運動も本人様に話をしながら継続できるように誘導している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は個別に行い、一人ひとりの意向に沿ってくつろいだ気分で入浴できるように支援しています。拒む人に対しては言葉かけなどを工夫をして入浴支援をしている。また、季節に応じてゆず湯やりんご湯が楽しめるように支援している。	週3回の入浴を利用者の心身の状態に配慮しながら支援している。毎日入浴の希望や好みの温度、時間などは柔軟に対応し、また、入浴剤やゆず湯、りんご湯を工夫する等、ゆっくりと気持ち良く楽しめるように取り組んでいる。入浴後は水分の補給や皮膚疾患の処置を支援している。入浴を渋る利用者には無理強いしないで時間や順番、声掛け等を工夫して、意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の体調や希望に合わせて、休息ができるように配慮している。睡眠薬が処方されている方も薬を服用せず、安心して気持ち良く眠れるように支援している。寝付けない時には、飲み物を飲みながらおしゃべりしたり、テレビを観たりして眠れるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の個々の内服薬に関して、薬の処方箋を職員が確認し、情報の共有を行っている。新規の処方があった場合は、内容等を確認し、内服してからの状態を記録に残す等状態の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の職歴や生活面を配慮している。菜園の世話を日課にしている利用者様には、安全に行えるように見守り、必要時に声掛けをしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、利用者様の体調に注意しながら散歩をしている。歩行困難な方も車椅子を利用して戸外に出かけている。季節感を味わうために、花見やぶどう狩り・紅葉狩りのも行っている。季節ごとのイベントに参加したり、気分転換にドライブに行ったりしている。本人様が戸外で気持ち良く生き生きと過ごせるように家族と共に墓参りや自宅への外泊、家族との会食など外出の機会を設けている。 14	利用者の外出に対する意向を日頃の支援の中で把握し、健康状態や天候に配慮しながら、園庭の東屋での歓談や周辺の散歩、高千穂牧場等へのドライブ、外食、買い物、一時帰宅、墓参り等の外出を家族と協力しながら取り組んでいる。季節の花見、地域イベント、法人系列の他事業所との合同運動会に参加するなど工夫してリフレッシュに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持できることで安心したり、買い物をすることで楽しめたりする人がいるので、ご家族の協力を得て、少額のお金を持っている人もいます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じて日常的に電話や手紙を出せるように個別に支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎月作る利用者様の方の作品や塗り絵、室内に季節の花などを飾って家庭的な雰囲気を作っている。七草や十五夜に伴う草花や日常的に玄関やロビーに季節の活け花、観葉植物・御家族に了解を得た上で行事や日々の写真を掲示している。心地よい生活環境には特に力を注いでいる。音などの刺激を防止するなど必要に応じて、工夫を凝らしながら支援している。</p>	<p>ホームはバリアフリーの構造で、廊下やロビー等は余裕のあるスペースが確保されている。随所に利用者の作品や活け花、イベント時の写真等が飾られ、清掃や空調、臭気にも十分配慮して和やかで清潔感のある空間となっている。オープンキッチンからは調理の音や匂いを感じられ、テーブルセットやテレビ、ソファ等の家具が利便性に配慮して備えられて、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな時に好きな事ができるように職員も注意し、一人で過ごせるスペースを確保している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人と御家族の方と相談し、不安や混乱がないように、利用者様の好みや馴染みの物（写真や使い慣れた物）を用意し、御本人が居心地の良い場所としている。御家族と御本人に部屋は自由に使用して下さるよう伝えている。	余裕ある居室はフローリングに掃出し窓の仕様で、ベッド、エアコン、クローゼットが備えてあり、利用者の意向を確認しながら整理整頓の支援に努めている。利用者は家庭同様に落ち着いて過ごせるように、家族写真や寝具、仏壇、小物等を自由に持ち込み、自身の作品も飾って、その人らしい和やかな雰囲気のある居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの”わかる力”を見極めて、不安や混乱のないように環境面で工夫している。利用者様の状態に合わせて手すりや浴室、トイレ、廊下などの居住環境を整え、安全確保と自立への配慮をしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58			1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない